

科目名	音楽理論(ミュージックセオリー(1)(2))	担当教員名	小林 延江
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	楽譜に書かれた音やリズム・記号の意味について理解し、楽譜の基礎を学んでいくことで正確に楽譜を読み取る力を身につけていくことを目標とする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書、補助プリント、楽譜と音源を使い、実際に楽譜の中でどのように書かれ、使われているのかも紹介しながら講義し、ワークブックを用いて繰り返し問題を解きながら読譜力をつけていきます。		
【実務経験】2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。			
回数	授業形態	内容	
1	講義	ファンデーションカリキュラムの説明・LMの説明・楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への楽譜の移り変わりを知る	
2	講義	鍵盤と音名の一致・楽器ごとの音域を知る	
3	講義	音符・休符の表し方、連符	
4	講義	拍子記号・小節線について、拍子(単純拍子は詳しく、複合・混合拍子は紹介のみ)、タイ・シンコペーション	
5	講義	反復記号を学び、音源を使用して楽譜を追えるようにする	
6	講義	楽譜と音源を使用し、前半の総復習	
7	講義	確認テスト	
8	講義	メジャースケールの仕組み・#系のメジャースケールのみ	
9	講義	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする・b系のメジャースケール	
10	講義	調号と臨時記号の違い・臨時記号の効力・正しい楽譜の書き方	
11	講義	速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ	
12	講義	楽譜と音源を使用し、後半の総復習	
13	講義	期末予備テスト	
14	講義	期末テスト・振り返り	
15	講義	テスト返却、復習	
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを吸収し正しい知識としてきっちり身につけて役立てていけるよう、毎授業時間内に行う小テストの見直し、教科書・ワークを使っての復習を日々行っていくこと。また積極的に楽譜を見る機会を増やしていくように。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価	
教材	教科書	ゼロから始める音楽理論、ワークブック	
	参考書		
学生への メッセージ	楽譜は慣れです！楽譜に触れる機会をたくさん増やし、楽譜に書かれていることを正確に読み取れる力を身につけていけるよう日々の授業をコツコツ取り組んでいきましょう。		

科目名	初見視奏(SPL(1)(2))		担当教員名	奈良木 俊赫
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		必修	教室	EN631
授業の到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上、基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>発声基礎となる低音、声帯のストレッチ、ファルセットのトレーニング方法を伝えると同時に、洋楽の課題曲を与え、コピーを目標に日々練習をしてもらい、発声、歌唱ともに毎授業トレーニング成果をチェックし、プロとして必要な声、歌唱力を身につける。また、授業のはじめに外化(会話)を一人づつ行う。日々の生活の中で感じた事、想っている事を話してもらい、コミュニケーションを取りながら「伝える」という事を学ぶ。</p> <p>【実務経験】2007年にOSMを卒業後、日本を代表するゴスペルグループSOULMATICのメンバーとして活動中。LA、シカゴ、韓国などの海外ツアーへの参加や、2015、2017に東宝ミュージカル「RENT」へ出演すると同時にカンパニーの歌唱指導を担当。現在は関西ジャニーズJr.のボーカルトレーニングを行なっている。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック		
2	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
3	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
4	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
5	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
6	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
7	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
8	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
9	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
10	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
11	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
12	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
13	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業でおこなった発声練習を、1日30分週4日以上行う 課題曲の練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 出席率(70%) 2. 発表会への参加(30%)		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	才能が半分でも努力が勝つ！一緒に夢実現へ向けて進みましょう！			

科目名	初見視奏(ファンデーションキーボード(1)(2))	担当教員名	中山 智義
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	弾き語りの演奏ができる。 弾き語りに必要なコードの展開、多様な音階を理解する。 弾き語りに必要な演奏力を養うための練習を行う。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 全体でのスケール練習。コード演習。ピアノ曲の練習等。		
【実務経験】大阪芸術大学在学中より、佐川満男、増田俊郎等のバックメンバーとして音楽活動を開始。OSM開校当初より、キーボード科講師として後進の育成にあたる。1990年以降には、音楽制作ユニット”Groovers”にて多くのCM、映画、テレビドラマ、ゲーム等の楽曲制作を手掛ける。近年では、「Too young to die!若くして死ぬ」「ナミヤ雑貨店の軌跡」等、映画中での演奏を担当する。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	授業説明 到達目標について 音名音階の説明	
2	演習	復習 音階の練習(メジャースケール)	
3	演習	スケールの練習 C～B(白鍵)コードの説明メジャー、マイナー	
4	演習	スケールの練習 コードの演習(トライアド)	
5	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習	
6	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習	
7	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習	
8	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習	
9	演習	スケールの練習(any key)	
10	演習	スケールの練習 セブンスコードの説明	
11	演習	スケールの練習 楽曲2を使って演奏の練習	
12	演習	スケールの練習 楽曲2を使って演奏の練習	
13	演習	実技テスト・振り返り	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	自宅、学校等で鍵盤に触れる		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験40% 筆記試験40% 課題20%	
教材	教科書		
	参考書	指定する楽譜等	
学生への メッセージ	基本的なキーボードの考え方、奏法を身に付けて自分の音楽や曲作りに役立てて下さい。		

科目名	初見視奏(ファンデーションGtr)	担当教員名	浅沼毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	簡単なメロディの演奏(単音)が出来るようになること。簡単なコード譜に合わせて適切なスタイルのリズムで伴奏(和音)が出来るようになること。また実際の譜面を通してプロミュージシャンとして必要な最低限の楽譜の知識や理論も身につける。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ギター未経験者、初級レベルの学生を対象に、エクササイズや課題曲を通してギターを弾くために必要な知識やテクニックを段階に応じて学んでいきます。4beat、8beat、16beat rhythmなどの演奏スタイルに特化した課題曲を演奏する事でそれぞれの違いを体感し学びます。		
【実務経験】大阪スクールオブミュージック卒業後渡米、Berklee音楽大学へ入学。2002年パフォーマンス科を優等で卒業後帰国、各種演奏の仕事に参加。2002年より母校である大阪スクールオブミュージックにて教鞭をとる。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	ギターの各部位の名称、仕組み、チューニング、ピックの持ち方、ギターの構え方	
2	演習	ピックで任意の弦を弾く(単音、和音) パワーコード(Root+5th)	
3	演習	コード進行に合わせてコードチェンジ(コードは3つ程度)	
4	演習	右手のストローク・リズム(全音符、二分音符、四分音符、八分音符)	
5	演習	ピッキングヴァリエーション(ダウン、アップ、オルタネイト)	
6	演習	ブリッジミュートなどの右手のテクニック	
7	演習	実際にアンプで音を出してみる	
8	演習	16th note feel	
9	演習	シンコペーション、右手のストローク(空ピッキング、カッティング)	
10	演習	5弦、6弦の音名、ポジションの拡張(12フレットまで)	
11	演習	オープンコード、セーハーコード	
12	演習	課題曲のおさらい	
13	演習	総復習	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを自分なりに整理し明確にする。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	授業内評価	
教材	教科書	オリジナルの資料	
	参考書		
学生への メッセージ	授業内で思うように弾けなくても大丈夫です。将来たのしくギターを演奏出来るように必要なテクニックについて課題曲を通して一歩ずつ学んで行きましょう。		

科目名	初見視奏(ファンデーションBass)	担当教員名	桑原 正
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	ベースという楽器を基礎から学び楽器の特性を知ること为目标とする。授業内のテーマを学習することにより、楽曲においてのベースの役割を学び自己の音楽力向上が目標となる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する定番のフレーズを持つ課題曲を通じてリズムや音使い、フォームや運指などベースの基礎を学びます。		
【実務経験】1993年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業後、関西を中心にLive活動をする。インストラクターとしても15年以上のキャリアを持つ。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	Cメジャースケールを色々なポジションで弾く。	
2	演習	定番の8beatフレーズを弾く。	
3	演習	課題曲、Have you Ever Seen The Rain	
4	演習	(初めてベースを弾く人も、曲を最後まで演奏する感覚を知ってもらう。)	
5	演習	課題曲、Proud Mary	
6	演習	(8 beat の定番フレーズのトレーニング。)	
7	演習	課題曲、Every Breath You Take	
8	演習	(8 best の定番フレーズのトレーニング。)	
9	演習	運指トレーニング (左右のフォームをチェックする。)	
10	演習	課題曲、Get Ready	
11	演習	(ベースのリフが中心となる曲をトレーニングする。)	
12	演習	Slapトレーニング (Slap奏法をトレーニングする。)	
13	演習	前期のまとめ	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	前回授業の内容を復習。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	初めてベースを弾く人も基礎から学べる授業です。		

c	初見視奏(ファンデーションDr)	担当教員名	杉山聡信
時間	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	EN231		
ドラムを通して様々なリズムに触れ、仕組みを理解し、実際にドラムセットに触れて演奏してみることで、音楽力・リズム力の向上を目指し自身の本来のパートを強化することが目標である。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 毎授業ごとに変わる課題曲を用いて演奏に必要なリズムパターンを学習。ジャンル毎に必要なフレージングを覚え実際にドラムセットを使い演奏し習得する。		
【実務経験】2006年OSMを卒業後、自身のバンドでCDデビュー。バンド活動と共にシンガーソングライターのバックバンドも数多く担い現在プロ活動14年目を迎え、メジャーでは主にavexやよしもとクリエイティブエージェンシーのアーティストの他、FM802や吉本興業の芸人のバックバンドも務めている。吉本新喜劇の内場勝則座長のミュージカルでのドラム演奏指導などレッスン業も勢力的に行っている。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
2	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
3	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
4	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
5	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
6	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
7	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
8	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
9	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
10	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
11	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
12	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
13	演習	課題曲の分析と必要なリズムパターンの講義・実習。	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	ドラムは同じパターンでできあがっている部分が大いにあり、何度も同じ動きを繰り返して慣れることが重要です。毎回紹介されるリズムパターンを繰り返し慣れるまで練習してきてください。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	授業内評価 100%	
教材	教科書		
	参考書	随時配布、譜面、音資料	
学生への メッセージ	最初は難しいと思いますが自転車みたいなもので乗れたらもう乗れるしかないんです。この授業ではポップス・ロックを中心にとりあえずドラム叩けますと言えるレベルまでにしたいです。できるようになるまで個人差はあるし僕も最初は時間がかかったと思いますが、実は同じ動きの繰り返しが多くて1ブロックずつ覚えたら案外すぐできちゃったりします。みんなで一緒に練習するつもりでリズム感鍛えていきましょう。		

科目名	初見視奏(ファンデーションAgtr)	担当教員名	森島 達雄
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	アコースティックギターのコードストロークで曲を演奏できるようになる。(数曲)		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する基本的なコードの習得。演奏情報として8ビートリズムを読み、演奏できるようにしていく。シンプルな楽曲を利用して応用力を身につけていく。		
【実務経験】1979年よりプロとしての演奏活動を始める。平行して同年よりヤマハ音楽振興会にてレッスン活動も始める。現在に至るまで、数多くのライブサポート、レコーディング、テキスト開発に携わっている。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	基本コードを使って音符・リズムの理解①全、2分、4分、8分音符	
2	演習	基本コードを使って音符・リズムの理解②タイの読み方、弾き方	
3	演習	基本コードを使って音符・リズムの理解③タイの読み方、弾き方 続き	
4	演習	基本コードを使って音符・リズムの理解④符点の読み方、弾き方	
5	演習	基本コードを使って音符・リズムの理解⑤符点の読み方、弾き方 続き	
6	演習	曲を弾いてみよう。＜ジャンバラヤ＞リズム譜読みトレーニング	
7	演習	曲を弾いてみよう。＜ジャンバラヤ＞リズム譜読みトレーニング	
8	演習	3連譜の読み方、弾き方①	
9	演習	3連譜の読み方、弾き方②	
10	演習	曲を弾いてみよう。＜オワリはじまり＞シャッフルリズム①	
11	演習	曲を弾いてみよう。＜オワリはじまり＞シャッフルリズム②	
12	演習	曲を弾いてみよう。＜オワリはじまり＞リズム読みトレーニング総復習	
13	演習	曲を弾いてみよう。＜オワリはじまり＞リズム読みトレーニング総復習	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	できるだけ毎日練習する時間を作って下さい。(15分～30分)		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	授業に出ているだけでは弾けるようにはなれません。絶対弾ける様になってやるという意志が大事です。がんばって下さい。		

科目名	ソルフェージュ(イヤートレーニング(1)(2))		担当教員名	小林 延江
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		必修	教室	
授業の到達目標	<p>《リズム》4分の3拍子・4分の4拍子で、4分音符、8分音符、16分音符、4分休符、8分休符の混ざったリズムを聴き取れるように。《メロディー》C～Gまで(跳躍進行あり)を正確に聴き取り楽譜に書き表せるように。《音程》1～8度までの音程を知る。《コード》メジャーコードとマイナーコードを聴き分ける。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する キーボードで弾く音を聴き取り、リズムを感じ、それを表現するトレーニングを行っていく授業です。音感・リズム感・感性を鍛えていくと共に、音を集中して聴く力(集中力)、聴こえてきた音を正確に楽譜に表す力を身につけていきます。</p>			
【実務経験】	2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。			
回数	授業形態	内容		
1	講義	ファンデーション科目・ETの説明/音の歴史について、音楽について、モールス信号、効果音、周波数(教科書第1章～2章の内容)		
2	講義	4分音符4分休符導入 / リズム打ちを使つての書き取り/線紙を使つて音の高低判定(C～E・2度進行)		
3	講義	線紙を使つての書き取り/3線紙を使つて音の高低判定(C～E・3度の順次進行)		
4	講義	8分音符導入 / 5線を使つてC～E までの書き取り / 全音・半音と度数のみ		
5	講義	休符の多い書き取り問題 / 1・2・3・8度のみ		
6	講義	16分音符の導入 / 復習・暗記問題/1・2・3・8度のみ変化記号(#・b)が付いた場合		
7	講義	復習・確認週		
8	講義	C～E で跳躍進行/1～5と8度(4度、5度は#, bなし) トライトーン		
9	講義	8分休符+8分音符の導入 / C～Fまで(順次進行)/1～5と8度(4度、5度#, bあり)トライトーン		
10	講義	8分音符+16分音符リズムの導入 / C～Gまで(順次進行)/1～6と8度		
11	講義	C～Gまで(跳躍進行)/1～8度		
12	講義	1～8度 音程まとめ/Major, Minorの聞き分け/総復習		
13	講義	テスト対策週(まとめ)		
14	講義	テスト・振り返り		
15	講義	テスト返却・復習		
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを吸収し正確な音感を身につけ役立てていけるよう、リズム叩きや正しい音程でメロディーを歌う練習、音程の復習を忘れず、日々音に触れていくよう努力しよう。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価		
教材	教科書	イヤートレーニング		
	参考書			
学生への メッセージ	週1回の授業を大切に！こつこつと積み重ねていくことで少しずつ耳は鍛えられていきます。 継続して授業に出席することを定着させ、正確な音感・リズム感を身につけていきましょう。			

科目名	楽器レッスン(ヴォイストレーニング)	担当教員名	桜田ヒロキ
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	・声の発せられるメカニズムの理解・自分の行うべき改善目標の具体化・具体化された目標を実際に到達させるためのトレーニングの日常化 (トレーニング・メニューは別途お送りします)・隔週で個別に声の状態を確認し、常時的確なエクササイズの割り当てを目指す		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ハリウッド式ボイストレーニング(VocalizeUで使われる発声理論)を用いて音域の拡大・音色の改善・声量の増強を行う		
【実務経験】マイケル・ジャクソン、スティービー・ワンダーのコーチSeth Riggsのトレーニングメソッドの日本人2人目の公認インストラクター。 アーティスト担当、ライブ常同多数。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	セミナー形式でそれぞれの悩みを聞き、実際に解決。前期に行うメニューのオーバー・ビューを見せる	
2	演習	トレーニング・メニュー、声の弱点タイプの理解(別紙参照)	
3	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て	
4	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、生理学的な声帯の動きを理解する	
5	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て	
6	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、ビブラートに対する理解・エクササイズ	
7	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て	
8	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、ボイストレーニングにおける母音の考え方	
9	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て	
10	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、音階練習・音程の考え方	
11	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て	
12	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、トレーニングにおける音程音階を理解した上で適切な練習曲の選び方を理解する	
13	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て	
14	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、semi-occludedエクササイズの音声学的な解説(リップバブル・ストローエクササイズなど)	
15	演習	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て	
準備学習 時間外学習	個人練習と前回の授業振り返り		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%	
教材	教科書		
	参考書	Singing for the stars (Seth Riggs), Vocology (Ingo Titze), Singing Success (Brett Manning), Ulitimate Voice Training for singers (Billy Purnell)	
学生への メッセージ	発声法を学ぶだけでなく、音声学や生理学の観点からも声について学習し、自分で声をトレーニングできるようになる事を 目指しましょう。理論までしっかり固めておけば、卒業後にトレーナーとして働く事も出来ますよ！		

科目名	楽器レッスン(Gtハーモニックコンセプト1年)	担当教員名	TAKU
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	予習、復習の習慣化。アドリブソロの組み立て。リズムの違いを理解する。 ポピュラー音楽における楽典の基礎をしっかりと身につけ、コミュニケーションツールとして日常的に活用出来るようにする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実際にバンドでの活動及び、録音やライブの制作現場において、自身が必要不可欠、または身につけていると生産性が向上すると強く感じるコミュニケーションツールを学習します。基礎音楽理論の学習とリズム譜読解と演習を中心に進めていきます		
【実務経験】2002年にヤマハ音楽院大阪を卒業後現在までギター講師、録音、ライブ活動などを継続中。また2006年から現在までバンド、韻シストのギタリストとして活動中。所属レコード会社は徳間ジャパンコミュニケーションズ。			
日程	授業形態	内容	
1	演習	G型のメジャースケールとその三和音を理解する。	
2	演習	G型のメジャースケールとその三和音を実践する。	
3	演習	C型のメジャースケールとその三和音を理解する。	
4	演習	C型のメジャースケールとその三和音をする	
5	演習	8分音符のリズム譜の実用トレーニング	
6	演習	E型のメジャースケールとその三和音を理解し実践する	
7	演習	A、D型のメジャースケールとその三和音理解し実践する。	
8	演習	4和音の仕組み no.1と16分音符のリズム譜の実用トレーニング	
9	演習	4和音の仕組みno.2	
10	演習	keyと5度圏を理解し活用する	
11	演習	ダイアトニックコードの説明	
12	演習	ダイアトニックコードの実践	
13	演習	平行調、同主調メジャーとマイナーの仕組みを理解する	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	毎回積み重なっていく授業のため必ず復習する。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%	
教科書	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	楽譜、理論、と聞くと難しいと思いこんでしまう方もいらっしゃるみたいですが、実際はとても簡単で身につけると音楽友達とコミュニケーションを取るときに最適なツールの一つとなるので、気楽な気持ちで楽しく身につけよう!!		

科目名	楽器レッスン(Bassグループメイキング)		担当教員名	Shyou
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		選択	教室	432教室
授業の到達目標	ベース楽器の技術習得。安定したリズムの習得。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する主にリズム譜をもちいたエクササイズを通し、リズムの強化を行う。			
【実務経験】韻シストのBassistとして数々の作品に参加し(Chara、嵐、PUSHIM、他)また数々のフェス(ROCK IN JAPAN FESTIVAL、COUNTDOWN JAPAN、SUNSET LIVE、頂-ITADAKI 他)にも出演し自身らが手掛けるフェス《OSAKA GOOD VIBES》も大成功させる講師が現行の現場での経験を元にその手法や知識を紹介し、それに必要な技術をスタンダードなリズムパターンを使い学んでいく。リズム感は勿論ビート感やそれに対する考え方、イメージ通りに演奏する為のトレーニング方法、考え方、自己修正などが出来るようになる。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	リズム譜の読み方		
2	演習	全音符、二分音符、四分音符、休符エクササイズ		
3	演習	八分音符、休符エクササイズ		
4	演習	付点四分音符エクササイズ		
5	演習	八分音符シンコペーションエクササイズ		
6	演習	十六分音符、付点八分音符、休符エクササイズ		
7	演習	十六分音符シンコペーションエクササイズ		
8	演習	習得した全ての音符、休符を用いた用いたエクササイズ		
9	演習	復習		
10	演習	コード進行を用いてのリズムエクササイズ		
11	演習	メジャースケールを用いたリズムエクササイズ		
12	演習	総合エクササイズ		
13	演習	実力テスト		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	読譜力 記譜力 運指練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	基本的な練習方法を学ぶ事で基礎力をしっかり身につけて、安定感のあるリズムを奏でれるように一緒に頑張りましょう。			

科目名	楽器レッスン(Drグループメイキング)		担当教員名	戸谷 太郎
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		選択	教室	EN231
授業の到達目標	ドラムでグループを作るために必要な知識と体をコントロールする為の基礎練習が最大の目標となる。スタンダードなリズムパターンやフィールを知り習得する。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 講師が現行の現場での経験を元にその手法や知識を紹介し、それに必要な技術をスタンダードなリズムパターンを使い学んでいく。リズム感は勿論ビート感やそれに対する考え方、イメージ通りに演奏する為のトレーニング方法、考え方、自己修正などが出来るようになる。			
【実務経験】	韻シストのdrummerとして数々の作品に参加し(Chara、嵐、PUSHIM、他)また数々のフェス(ROCK IN JAPAN FESTIVAL、COUNTDOWN JAPAN、SUNSET LIVE、頂-ITADAKI 他)にも出演し自身らが手掛けるフェス《OSAKA GOOD VIBES》も大成功させる			
回数	授業形態	内容		
1	演習	リズム譜読み方 スティックコントロール メトロノームの使い方①		
2	演習	基本的な8ビートのパターン実践 リズムトレーニング		
3	演習	基本的な8ビートのフィルイン実践 リズムトレーニング		
4	演習	基本的な8ビートのパターン、フィルイン実践② リズムトレーニング		
5	演習	メトロノームの使い方② リズムトレーニング		
6	演習	リズムトレーニング応用①(付点四分音符) リズムチェンジ		
7	演習	基本的な16ビートのパターン実践 リズムトレーニング		
8	演習	基本的な16ビートのフィルイン実践 リズムトレーニング		
9	演習	リズムトレーニング応用②(付点八分音符)		
10	演習	基本的な16ビートのパターン、フィルイン実践② リズムトレーニング		
11	演習	基本的な16ビート(bounce)のパターン実践		
12	演習	手足のコンビネーション系フレーズ実践 リズムトレーニング		
13	演習	手足のコンビネーション系フレーズ実践② リズムトレーニング		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	読譜力 記譜力 スティックコントロール			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技 40% 出席率 60%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	基本的な練習方法を学ぶ事で基礎力をしっかり身につけて、安定感のあるリズムを叩けるように一緒に頑張りましょう。			

科目名	楽器レッスン(Gtメロディックコンセプト)	担当教員名	引田 寿徳	
時間数	60	必修	配当年次	1年次
曜日・時限			教室	EN632
授業の到達目標	ギター演奏に必要なスケールやテクニックをマスターする。様々なコード進行に対応するメロディーセンスを学ぶ。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的なパターン化されたコード進行を使って、スケールやテクニックを使ってメロディーを作る。ソロもとれる様にする。			
【実務経験】	OSM卒業後、LAに移住。David Lee Roth Bandに加入。Hideous Sun Demonsで全米デビュー。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	スケール#1の使い方		
2	演習	スケール#2の使い方		
3	演習	スケール#1の応用		
4	演習	スケール#2の応用		
5	演習	スケール#1、スケール#2を使ったコード進行		
6	演習	スケール#1、スケール#2を使った応用テクニック		
7	演習	スケール#3の使い方		
8	演習	スケール#3の応用		
9	演習	スケール#4の使い方		
10	演習	スケール#4の応用		
11	演習	スケール#3、スケール#4を使ったコード進行		
12	演習	スケール#3、スケール#4を使った応用テクニック		
13	演習	テスト週		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習	前単元までの復習 自主練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ	様々なスケールを使って、そのスケールの持つフィーリングをコード進行を使って、アドリヴ出来る様にしよう!			

科目名	アンサンブルレッスン(ゴスペルアンサンブル1年)		担当教員名	池末 信
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		選択	教室	EN431
授業の到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。			
	【実務経験】アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー		
2	演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲		
3	演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス		
4	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー		
5	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー		
6	演習	3曲新曲、選択理論ワーク		
7	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス		
8	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス		
9	演習	プレイフルワーク、楽曲復習		
10	演習	楽曲復習、新曲レクチャー		
11	演習	楽曲復習、新曲レクチャー		
12	演習	楽曲復習、ケイティワーク		
13	演習	新曲レクチャー		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	①週目は準備はなく、②週目以降は楽曲復習・学びの振り返り			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験		
教科書	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	心技体において確実な成長を体感し、自分自身を自由にさせ、学びを信じ、「ゴスペル学びの先に本物になれる			

科目名	アンサンブルレッスン(1年アンサンブル)	担当教員名	千葉晃司
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	<p>色んなジャンルの課題曲が実際にどのように演奏されているのかを聞き取り、それを演奏出来るようになることを目的とし、実際のアンサンブルではサウンドメイキング、楽曲をコピーするだけでは無くオリジナリティも出しながらアドリブ力、パフォーマンス力、譜面を読む力も習得する。</p>		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する アナライズ授業で、各課題曲の解釈の仕方、フレーズ、プラスα何か出来ることを講義、演習で学び、アンサンブル授業でそれらの実践を行う。</p>		
<p>【実務経験】音楽学校卒業後からオリジナルバンドでの活動と、故 松澤浩明(EX.MAKE-UP)の下でアシスタント講師やアーティストサポートなどの仕事も始める。2006年からOSMIにて講師として後進の育成にも携わっている。現在はオセロケッツのボーカリスト森山公一が率いる「森山公一 the Sokai」での活動や「心屋仁之助バンド」を始め様々なアーティストのサポート、楽器メーカーのデモンストレーション、インストラクターなどを中心として活躍している、ロックギタリスト。</p>			
回数	授業形態	内容	
1	演習	演習課題曲①アナライズ、及びアンサンブル	
2	演習	演習課題曲②アナライズ、及びアンサンブル	
3	演習	演習課題曲①、②アンサンブル	
4	演習	演習課題曲③アナライズ、及びアンサンブル	
5	演習	演習課題曲④アナライズ、及びアンサンブル	
6	演習	演習課題曲③、④アンサンブル	
7	演習	演習課題曲⑤アナライズ、及びアンサンブル	
8	演習	演習課題曲⑥アナライズ、及びアンサンブル	
9	演習	演習課題曲⑤、⑥アンサンブル	
10	演習	演習課題曲⑦アナライズ、及びアンサンブル	
11	演習	演習課題曲⑧アナライズ、及びアンサンブル	
12	演習	演習課題曲⑦、⑧アンサンブル	
13	演習	イベントに向け、総復習。	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	毎週アップされる課題曲をしっかりと聞いて、自分なりに分析しておくこと。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	授業内容100%	
教材	教科書		
	参考書	随時配布、譜面、音資料	
学生への メッセージ	ギタリストとして基本的な基礎をしっかり身につけていく為の授業です。通常授業についていけないこと、分からないこと等あったらこの授業で全て解決しましょう！		

科目名	英会話(グローバルコミュニケーション)	担当教員名	ジェフリー バーネット
単位数	60	必修・選択	1年次
曜日・時限		必修	教室 803
授業の到達目標	様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。		
【実務経験】	2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり		
回数	授業形態	内容	
1	講義	L. 1 授業計画の説明、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる。	
2	講義	L. 2 & 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えができる。	
3	講義	L. 5 & 6 好き・嫌い等の好みについての会話ができる。	
4	講義	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べる。お誘いを受けた際の返答ができる。	
5	講義	L. 11 & 12 人を褒める&褒められた際の会話表現。(衣服など)着ているものに関して述べる事が出来る。	
6	講義	L. 7, 13, & 14 時間について表現する。日々の習慣について話す&質問できる。	
7	講義	L. 19 & 20 道案内をする・場所を尋ねることが出来る。	
8	講義	L. 21 & 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えができる。	
9	講義	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーが出来るようになる。	
10	講義	L. 29 & 30 過去の出来事について話す&質問できる。	
11	講義	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答が出来るようになる。	
12	講義	L. 32 週末や未来の予定について話す事が出来る。	
13	講義	総復習	
14	講義	本試験	
15	講義	試験返却、解説、ポストテスト	
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験50%、出席課題50%	
教材	教科書	Speak Now1	
	参考書		
学生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！		

科目名	音楽史(インストアンサンブル)	担当教員名	岡本陽一
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		教室	1年次 EN632
授業の到達目標	(1)課題曲を題材にして基本的なアンサンブル技術を養う。 (2)コード進行に沿ったスケールを考えベースのフレーズを構築させる。 (3)楽曲のアレンジを編曲しオリジナルな演奏を心がける。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 2週ごとに課題曲を入れ替え、様々な音楽ジャンルに対応できる演奏技術を養う。ギター、ベース、ドラムとそれぞれにソロパートを割り振り、コード進行に適したオリジナルなフレーズを演奏する。学期末にはレコーディングスタジオを利用して各パートのレコーディングを予定。曲の構成やソロパートの割り振り、フレージングまで各自で考え、作品を作る過程を体験する。		
【実務経験】	大阪スクールオブミュージック専門学校卒業後、Los Angeles Music Academyへ入学。2年間のプログラムを履修し卒業。2002年帰国後はOSMプロミュージシャン科ベースコースの講師に就任。その後東京へ拠点を移し様々なアーティストのツアーやレコーディングに参加。主なアーティスト:夏川りみ、Kiroro、DoAsInfinity、Hey!Say!JUMP、伊藤由奈		
回数	授業形態	内容	
1	演習	ベースの基本フォームの確認。基礎演奏レベルチェック	
2	演習	8ビートリズムの演奏:課題曲「Why I sing the Blues」	
3	演習	8ビートリズムの演奏:課題曲「Why I sing the Blues」	
4	演習	8ビートリズムの演奏(2):課題曲「Got to Be Real」	
5	演習	8ビートリズムの演奏(2):課題曲「Got to Be Real」	
6	演習	16Beatのフレーズについて:課題曲「Stratus」	
7	演習	16Beatのフレーズについて:課題曲「Stratus」	
8	演習	シャッフル系リズムの演奏:課題曲「Freeway Jam」	
9	演習	シャッフル系リズムの演奏:課題曲「Freeway Jam」	
10	演習	シャッフル系リズムの演奏:課題曲「Cissy Strut」	
11	演習	シャッフル系リズムの演奏:課題曲「Cissy Strut」	
12	演習	レコーディング演習(1)	
13	演習	レコーディング演習(2)	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	課題曲の予習復習、キーとスケールの確認		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技90% 課題10%	
教材	教科書		
	参考書	課題曲の譜面を配布 LAMusicAcademyの教材から資料を抜粋	
学生への メッセージ	楽曲の決まったフレーズやリズムを演奏する技術もちろん大切な事だが、シンプルなコード進行の中でも、自分のテクニックやアイデアだけで楽曲のダイナミクスを広げる事。楽器を演奏する本当の実力とはそこにあると思います。その為には、音楽の歴史を振り返り、理論の勉強やフレーズの練習、スケールの練習を頑張りましょう！		

科目名	楽器メンテナンス(フィジカルトレーニング(1)(2))		担当教員名	竹治 久里子
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		選択	教室	EN531/532
授業の到達目標	授業を通して、歌うため、ステージでパフォーマンスをするために必要な体力要素について学び、実践を通して基礎体力の向上を目指す。また、ステージ上で「美しく」見せるための姿勢や体について学ぶ。授業を通して意識の変化、身体作りのきっかけができる			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する トレーニング方法のみならず、疲労回復のためのケア方法や、栄養について、座学を交えながら実践していく。自宅でもできる自重トレーニング、ストレッチを中心に、「どこを鍛えればどんな効果があるか」「ストレッチにはどんな方法があるのか」を理解し、実践できるようになる。			
【実務経験】作業療法士として病院勤務3年後、スポーツ業界に関わりたいと思い、アスレティックトレーナーの資格をとり京都医療へ。卒業後は、フリーランス(5年)でスポーツ選手やフィギュアスケートのパーソナルトレーニング等を行っている。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	導入。授業内容に関して。		
2	演習	ウォーミングアップについて。効果、方法。		
3	演習	クールダウンについて。効果、方法。		
4	演習	トレーニング方法について。目的に応じたトレーニングの強度や頻度。		
5	演習	自重トレーニング①(上半身)		
6	演習	自重トレーニング②(下半身)		
7	演習	セルフケア①(ペアでマッサージ、ストレッチ)		
8	演習	セルフケア②(ストレッチポールを使ったケア)		
9	演習	栄養について。栄養学の基礎、日々の食事の見直し。		
10	演習	呼吸について。発声に必要な筋肉、トレーニング。		
11	演習	疲労回復について。自宅でもできるもの、意識すべきこと。		
12	演習	夏休みのフィジカル計画。休み期間中、自宅等で行うものを計画する。		
13	演習	試験・振り返り		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを復習する。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験70% 課題提出30%		
教材	教科書			
	参考書	プリント配布		
学生への メッセージ	「変わりたい」と思った時がチャンスです。自分磨き、一緒にがんばりましょう。			

科目名	楽器メンテナンス(ファンデーションキーボード(3)(4))		担当教員名	元岡 衛
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限			教室	EN332
授業の到達目標	予習、復習の習慣化。アドリブソロの組み立て。リズムの違いを理解する。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的なコードが弾けるようになることを目的とするが、音階(まずは長調=メジャースケール)を理解することがよりコードを理解できることを伝えながら、コードを習得する。			
【実務経験】4歳からクラシックピアノを習い始める。1989年に大阪スクールオブミュージック専門学校インストラクター科を卒業後、ピアノ講師を始める。2002年から現在に至るまでキーボード講師を続けながら関西を中心にライブ活動を行う。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	メジャースケール(C)/コード(C、F、G7)と転回系の説明		
2	演習	メジャースケール(C)/コード(C、F、G7)とリズムトレーニング		
3	演習	メジャースケール(C)/コード(C、F、G7)を使って課題曲「茶色の小瓶」		
4	演習	メジャースケール(C)/コード(C、F、G7)を使って課題曲「北の国から」		
5	演習	前回同様		
6	演習	メジャースケール(C、G、D、A)/コード(C、F、G7、Dm、Am)を使って課題曲「踊るぼんぼり」		
7	演習	前回同様		
8	演習	メジャースケール(C、G、D、A、E)/コード(C、F、G、Am、B7)を使って課題曲「Let it be」		
9	演習	前回同様		
10	演習	メジャースケール(C、G、D、A、E、B)/コード(C、F、G、G7、Dm、Am、Bm、b7)を使って課題曲「Yesterday once more」		
11	演習	前回同様		
12	演習	メジャースケール(C、G、D、A、E、B、F)/課題曲は前回同様		
13	演習	試験・振り返り		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	復習として授業で習った内容を翌週も弾けるようにしておく。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	初めて鍵盤を弾く人も、また、クラシックピアノは弾けるけどコードがわからないという人にもわかりやすい授業です。			

科目名	コンピューターミュージック(ソングライティングGt(1)(2))	担当教員名	直塚 航	
時間数	60	必修	配当年次	1年次
曜日・時限		選択	教室	EN632
授業の到達目標	ギターを使用し、作曲、編曲が出来る技術を習得する事を目的とする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ギターを使用し、メロディ、ハーモニー、リズムの関係性を習得する。発想を効率良く形にするには。			
【実務経験】音楽教育の現場を含め、音楽業界で20年以上のキャリアを持ち、ギタリストとしての活動や、映画音楽制作、TVCMの音源制作、メジャーレコード会社からの作品発表など多方面で現在も活動。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ギターを演奏する上での力の使い方。		
2	演習	ギター上で音程、音の動きを把握する。		
3	演習	メジャースケール。2本の弦でスケール音の組合せを考える。		
4	演習	マイナースケール。2本の弦でスケール音の組合せを考える。		
5	演習	ダイアトニックコードとは。左手の動きを考える。		
6	演習	メロディーの型。ある音からどうやって動くのか。		
7	演習	3コード上でメロディーを作成。メロディーのパターンを考える。		
8	演習	コードのグループ分け。小節への配置。		
9	演習	コードヴォイスング。楽にコードチェンジするには。		
10	演習	メロディーとハーモニーの関係。		
11	演習	ストーリーを考える。各場面(レットテル)のメリハリを出すには。		
12	演習	ケーデンスとは。転調、一時転調とは。		
13	演習	リズム。パルスやアクセント、シンコペーションとは。		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習	各自 楽曲制作			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験80% 課題20%		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ	ギターの仕組みや、音の仕組み、楽曲の仕組みが分かると、今以上に音楽の楽しみ方が増えます。			

科目名	コンピューターミュージック(ソングライティングKey(1)(2))		担当教員名	中山 智義
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		選択	教室	EN332
授業の到達目標	基本的な作曲法の修得と各自のオリジナル曲の制作			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ダイアトニックコード。コードワークについての演習。各自の楽曲制作。			
【実務経験】大阪芸術大学在学中より、佐川満男、増田俊郎等のバックメンバーとして音楽活動を開始。OSM開校当初より、キーボード科講師として後進の育成にあたる。1990年以降には、音楽制作ユニット”Groovers”にて多くのCM、映画、テレビドラマ、ゲーム等の楽曲制作を手掛ける。近年では、「Too young to die!若くして死ぬ」「ナミヤ雑貨店の軌跡」等、映画中で演奏を担当する。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業説明 到達目標について 各自の楽曲制作の開始		
2	演習	Aメロ サビ等のメロディーを考える。譜面の作成		
3	演習	Aメロ サビ等のメロディーを考える。譜面の作成		
4	演習	ハーモニーやアレンジに関するディスカッション		
5	演習	イントロ、間奏、エンディングを考える。		
6	演習	イントロ、間奏、エンディングを考える。		
7	演習	作詞を考えてみる。		
8	演習	作詞を考えてみる。		
9	演習	曲の構成、アレンジ等楽曲の完成を目指す。		
10	演習	希望者は録音に向けての準備		
11	演習	プレイヤーの召集、練習		
12	演習	プレイヤーの召集、練習		
13	演習	レコーディング		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	たくさんの楽曲を聞いてコード分析をしてみましょう。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	課題100%		
教材	教科書			
	参考書	指定する楽譜等		
学生への メッセージ	自分のペースでオリジナル曲の制作に取り組んで下さい。			

科目名	コンピューターミュージック(作曲ゼミ(1)(2))		担当教員名	小林 哲
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		必修	教室	605
授業の到達目標	Cubase の基本操作を理解し、歌モノ、インスト曲問わず、様々なタイプのメロディーを作成、プログラミング出来るようになる。 自曲のメロディーに対するコード付けを出来るようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
メロディーとは何か？基本的な考え方、作成術を学んだ上で週毎の課題に沿ったメロディーの作成を Cubase を用いて行う。基礎的なコードワークも併せて学ぶ。 【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	この授業で最低限必要になる、Cubase の基本操作の習得		
2	演習	全音符、2分音符をメインに使用したメロディーメイク／主要3和音の使い方。		
3	演習	4分、8分音符をメインに使用したメロディーメイク／主要3和音+代理和音の使い方。		
4	演習	8分、16分音符をメインに使用したメロディーメイク 1／Minor Key コードワーク		
5	演習	8分、16分音符をメインに使用したメロディーメイク 2／Secondary Dominant 追加 1		
6	演習	個別データチェック／アドバイスを踏まえたデータ修正		
7	演習	シンクペーションを用いたメロディーメイク／Secondary Dominant 追加 2		
8	演習	3拍子系のメロディーメイク／Secondary Dominant 追加 3		
9	演習	16シャッフルのメロディーメイク／Dominant Chord バリエーション 1		
10	演習	8シャッフルのメロディーメイク／Dominant Chord バリエーション 2		
11	演習	個別データチェック／アドバイスを踏まえたデータ修正		
12	演習	SDmを使った進行に対してのメロディーメイク／SDmを使った進行		
13	演習	バラード メロディーメイク 1 (Major Key 1)		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	様々なジャンルの楽曲を、好き嫌いなくメロディーに注目して聴く。 Cubase の基本操作を身体が覚えるまで何度も復習する。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3、課題 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	音楽制作の核となる、メロディーについて学ぶ科目になります。 様々なタイプのメロディーメイクにチャレンジして、自身のオリジナル曲に活かして行きましょう。			

科目名	コンピューターミュージック(作曲ゼミ(1)(2))		担当教員名	小林 哲
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	605
授業の到達目標	Cubase の基本操作を理解し、歌モノ、インスト曲問わず、様々なタイプのメロディーを作成、プログラミング出来る様になる。自曲のメロディーに対するコード付けを出来るようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
メロディーとは何か？基本的な考え方、作成術を学んだ上で、週毎の課題に沿ったメロディーの作成を Cubase を用いて行う。基礎的なコードワークも併せて学ぶ。 【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	内容に沿った8～16小節のメロディー作成		
2	演習	内容に沿った8～16小節のメロディー作成		
3	演習	アドバイスを踏まえたデータ修正		
4	演習	内容に沿った8～18小節のメロディー作成		
5	演習	フルコーラス楽曲完成に向けて授業内容分制作進行		
6	演習	フルコーラス楽曲完成に向けて授業内容分制作進行		
7	演習	フルコーラス楽曲完成に向けて授業内容分制作進行		
8	演習	アドバイスを踏まえたデータ修正		
9	演習	フルコーラス楽曲完成に向けて授業内容分制作進行		
10	演習	フルコーラス楽曲完成に向けて授業内容分制作進行		
11	演習	フルコーラス楽曲完成に向けて授業内容分制作進行		
12	演習	フルコーラス楽曲完成に向けて授業内容分制作進行		
13	演習	アドバイスを踏まえたデータ修正		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	様々なジャンルの楽曲を、好き嫌いなくメロディーに注目して聴く。 Cubase の基本操作を身体が覚えるまで何度も復習する。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3、課題 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	音楽制作の核となる、メロディーについて学ぶ科目になります。 様々なタイプのメロディーメイクにチャレンジして、自身のオリジナル曲に活かして行きましょう。			

科目名	プロダクション実務(キャリア教育(1)(2))		担当教員名	水島 秀樹
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限			教室	701
授業の到達目標	就職活動に必要な心構え、知識の習得。各コースの業界、会社の情報を収集し各自の進路決定の参考にする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する就職に向けてプリントなどでワーク。これまでの就職活動状況などを伝え講義を行う。			
【実務経験】	【実務経験】1990年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。その後東宝芸能と契約、各テーマパーク等でダンサーとして活動、バンドとしても活動を行い1998年CDデビュー。2001年より東京スクールオブミュージックにてヴォーカルを担当。			
回数	授業形態	内容		
1	講義	就職講座(求人情報の見方) スケジュール及びインフォメーション		
2	講義	就職講座(求人情報の見方) スケジュール及びインフォメーション		
3	講義	就職講座(企業研究・エントリーシートについて) スケジュール及びインフォメーション		
4	講義	就職講座(企業研究・エントリーシートについて) スケジュール及びインフォメーション		
5	講義	就職講座(好感を持たれる話し方・聞き方)スケジュール及びインフォメーション		
6	講義	就職講座(好感を持たれる話し方・聞き方)スケジュール及びインフォメーション		
7	講義	就職講座(リクルートスーツ、身だしなみについて) スケジュール及びインフォメーション		
8	講義	就職講座(リクルートスーツ、身だしなみについて) スケジュール及びインフォメーション		
9	講義	就職講座(履歴書学歴含め記入について)授業アンケート/スケジュール及びインフォメーション		
10	講義	就職講座(履歴書学歴含め記入について)授業アンケート/スケジュール及びインフォメーション		
11	講義	就職講座(写真撮影に向けてマナー講座) スケジュール及びインフォメーション		
12	講義	就職講座(写真撮影に向けてマナー講座) スケジュール及びインフォメーション		
13	講義	就職講座(履歴書志望動機・自己PR・エントリー作成)スケジュール及びインフォメーション		
14	講義	就職講座(履歴書志望動機・自己PR・エントリー作成)スケジュール及びインフォメーション		
15	講義	就職講座(履歴書志望動機・自己PR・エントリー作成)スケジュール及びインフォメーション		
準備学習 時間外学習	課題に対して復習をする。ノートをしっかりとる。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題		
教材	教科書	iPad		
	参考書			
学生への メッセージ	早期就職の為に早めに行動できるように準備をしていきましょう。			

科目名	プロダクション実務(著作権)	担当教員名	内藤 菜穂子
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	著作権身近に捉え、今後関わってくる事例を自ら考えられるようにする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 演奏活動している教員が今までにあった著作権に関する問題や判例を紹介しながら講義を進める。		
【実務経験】2015年より合唱団の伴奏者			
回数	授業形態	内容	
1	講義	音楽著作権の必要性・知的所有権	
2	講義	音楽著作権法・著作権の権利	
3	講義	著作隣接権	
4	講義	著作権・著作隣接権の保護期間・再販制度・レンタル禁止期間	
5	講義	著作権の管理・JASRAC	
6	講義	著作権条約・著作権ができるまでの歴史・輸入権問題・テスト前復習	
7	講義	中間テスト	
8	講義	中間テスト返却・著作権利用形態(演奏権、複製権、貸与権)・著作権使用料の計算 /実際にJASRACへの申請用紙を確認する	
9	講義	インターネットと音楽	
10	講義	音楽出版社	
11	講義	音楽配信/Youtube・ファイル共有ソフト/Winny	
12	講義	プロダクション・専属作家制度と著作権・楽曲のプロモート体制	
13	講義	著作権侵害・著作権の制限・テスト前復習	
14	講義	期末テスト・振り返り	
15	講義	期末テスト返却・DVD鑑賞	
準備学習 時間外学習	授業内配布プリントを失くさないよう、各自保管する。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席率を重視。中間テスト・期末テストを実施。	
教材	教科書	音楽著作権(吉村 保 著)/株タマエンタープライズ	
	参考書		
学生への メッセージ	「著作権」と聞くと難しく思えてしまいますが、意外と身近にたくさん話題があります。どのように対処していけば良いのか知っていて損しない知識をお伝えします!!!		

科目名	OA実習(MUSICIANS IT(1)(2))	担当教員名	木下 智哉
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限			1年次
		教室	601教室
授業の到達目標	ProToolsの基本操作の習得。Voテイクの編集とデモ音源制作の手順。マイクについての基礎知識の習得。データ管理スキルの習得。サイト制作基礎知識の習得。セルフブランディングの術を身につける。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するPCを使っての各種アプリケーションの使用法の解説と実習。		
【実務経験】作詞・作曲・編曲・サウンドプロデューサー／SCOOP MUSIC所属。／2000年、エレポップ三人組ユニット「epidemic」でポニーキャニオンからデビュー。5年に及ぶユニット活動休止後、作家として活動を開始。関西を拠点に作詞、作曲、プロデュース等を手がける。／浜崎あゆみ、中川翔子、V6、NEWS、HeySayJump、AAA等の数々のアーティストへの楽曲提供やアニメの音楽制作などを手がける。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	講師紹介／授業概要／601教室の使い方／PC基礎力チェック／PC基礎／周辺機材の基礎知識	
2	演習	デジタルオーディオ基礎／ファイルの種類／データ管理法／MYデータの管理	
3	演習	ProTools 基本操作／ウィンドウ、トラック各部の意味、環境設定／ショートカット／MYデータの読み込み	
4	演習	Vocal編集(1) 各ツールの使い方／プレイリストを使った編集／ベストテイクの作り方	
5	演習	Vocal編集(2) プラグインのかけ方／EQ、Comp、Reverbの使用法(基礎編)	
6	演習	Vocal編集(3) Mixバランスの取り方／ハウスの仕方／MP3への変換	
7	演習	Vocal編集(4) ナッジを使ったタイミング編集／より高度なVoEdit／音圧のコントロール	
8	演習	Audioインポート・エクスポート／CDからのオーディオ読み込み／外部ストレージの利用法	
9	演習	セルフブランディング概論／セルフブランディングチェック／食える1%になる方法	
10	演習	マイクの使用法(1) ／マイクの種類／様々なマイキング／結線の仕方／	
11	演習	マイクの使用法(2) ／レベルコントロール／モニターコントロール／RECシミュレート	
12	演習	ProToolsでのラフミックス／ハウス／簡易マスタリング／楽曲を使ってのデータ送受信	
13	演習	Vocal編集(5) MYデータを使った音源制作(夏休み提出課題)	
14	演習	前期のまとめ／不得意箇所の洗い出し	
15	演習	不得意箇所の復習	
準備学習 時間外学習	MYデータ(Voレコーディングデータ)の取得。課題制作用に渡されたデータを整理し、授業外の時間で積極的に復習に使用する		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3. 課題100%	
教材	教科書	授業時に配布するプリント各種。	
	参考書		
学生への メッセージ	昨今の音楽業界において、PCを使った各種アプリケーションの習得は必須事項となっています。スキルを身につけた分だけ、チャンスが広がります。しっかり覚えていきましょう。		

科目名	制作(進級制作)		担当教員名	水島 秀樹
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	EN431
授業の到達目標	1年間の授業の成果を発表するため各コンセプトにあった最高のパフォーマンスを行う。			
授業の内容	テーマに沿ったパフォーマンス内容の構築を行うとともに、多くの学生が参加することを理解し、ミーティングを通じてコミュニケーション能力を磨く。またミーティングの中で他学科の学生とのコミュニケーションを図り、自分の思い描くイメージの実現に努め、最後まで最高のパフォーマンスを見せるべく取り組む力をつける。			
【実務経験】	1990年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。その後東宝芸能と契約、各テーマパーク等でダンサーとして活動、バンドとしても活動を行い1998年CDデビュー。2001年より東京スクールオブミュージックにてヴォーカルを担当。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトミーティング		
2	演習	テーマミーティング		
3	演習	テーマミーティング、課題曲決定		
4	演習	ヴォーカルリハーサル		
5	演習	ヴォーカルリハーサル		
6	演習	フォーメーションリハーサル		
7	演習	クオリティチェック		
8	演習	パフォーマンス&演出ミーティング		
9	演習	演出ミーティング&テクニカルミーティング		
10	演習	全体リハーサル		
11	演習	最終テクニカルミーティング		
12	演習	全体リハーサル		
13	演習	現場全体リハーサル		
14	演習	本番		
15	演習	振り返り		
準備学習 時間外学習	決まった課題曲の反復練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	1年間頑張った成果をたくさんの方に見てもらいましょう！ そして来年、更なるレベルアップをしていきましょう！			